済生会大牟田病院 広報誌

なでしこ

SAISEIKAI OMUTA HOSPITAL SEASONAL REPORT

Vol. 5
2025.6
SPECIAL ISSUE

済生会大牟田病院のお医者さん 教えて! Doctor 特集
副院長 兼 外科部長
津福 達二 医師

チーム一丸となって、地域のニーズに応えます！

TOPICS

新入職員辞令授与式、オリエンテーションが開催されました。

令和7年4月1日、済生会大牟田病院大会議室にて辞令授与式、新入職員オリエンテーションが開催されました。今年度は新たに医師、看護師、コメディカル、事務職として19名の新入職員を迎えました。式は稲吉康治院長の挨拶に始まり、その後、院長から一人ひとりに辞令が授与されました。オリエンテーションでは、済生会の歴史や理念、勤務心得、接遇、感染防止や医療安全に関する研修が行われ、感染防止の研修では、アルコール消毒に必要な時間や使用量の目安を実際に消毒液を使って実践しました。このオリエンテーションを通じて、職員としての心構えがさらに整い、自信と希望を持って業務に取り組むことができることと思います。休憩時間には緊張をほぐすストレッチを行い、自己紹介では「好きなものはビールです、ぜひ飲みに行きましょう」や「サウナが好きなので一緒に行きましょう」などの話題が上がり、緊張していた表情も和らぎ、笑顔が見られていました。新しい環境でのスタートには不安もあるかもしれませんが、当院には先輩スタッフや上司からのサポートがあり、自分の成長を実感できる環境が整っています。医療チームとして、より良い医療の提供や地域の方への貢献ができるよう、一緒に成長していきたいと感じることができた有意義な時間でした。改めて、皆さんのご入職をお祝い申し上げます。そして、今後の活躍を楽しみにしています。

3月15日 おおむた産業フェスタに参加しました。

当院のブースでは「内視鏡体験」「看護師体験」「救急車での写真撮影、試乗体験」「アニサキス展示」「特定健診のご案内」を行ったほか、ライフケアのブースでは「福祉用具の展示」を行いました。朝は雨風が強く中止が囁かれましたが、そのような中でも足を運んでくださる来場者もおられました。午後は雨が止み、行列ができるほどの来場者で賑わい約500人の方に足を運んでいただきました。

「ふれあい看護週間」を開催しました。

5月13日（火）から5月16日（金）までの期間、「ふれあい看護週間」を開催しました。筋肉量の測定や正しい手洗い体験、乳がんのセルフチェック体験、血圧測定や健康相談さらには栄養・介護に関する個別相談など、健康に役立つさまざまな体験を実施したほか、骨粗しょう症や大腸ポリープ、熱中症予防などをテーマにした手作りポスターの展示やパンフレット配布も行い、多くの皆さまにご覧いただきました。本イベントは、近代看護の礎を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日である5月12日に合わせ、毎年開催しています。地域の皆さまとふれあい、少しでも健康な毎日のお手伝いができればという思いで、スタッフ一同取り組んでおります。来年もぜひ、お気軽にお立ち寄りください。

永年勤続者表彰式を終えて

（患者サポートセンター課長　徳永 はるみ）

令和7年3月6日、大森徹済生会福岡県支部長を招き、済生会大牟田医療福祉センター職員の永年勤続者表彰式が執り行われました。支部表彰として功労賞、15年勤続表彰があり、本部表彰としては30年、20年、10年勤続者へ合計27名が永年の功績を表彰していただきました。私は功労賞を賜り、授章者を代表して謝辞を述べさせていただきました。原稿準備にあたり、文字にすることで、改めて36年前に恩賜財団済生会に憧れて入職したこと、そして今日までの長い年月を振り返ることができました。病院看護師としての業務をはじめ、訪問看護や介護保険関連の業務に携わり、事業の立ち上げや閉鎖など、経営管理の難しさも経験しました。また、さまざまな研修に参加できたことに理解をいただき、病院や家族の協力にも改めて感謝の気持ちを抱きました。今までご指導いただいた諸先生方や先輩方、職員の皆様方には深く感謝しております。今後も、変わらず患者様・ご家族の思いを大切にし、地域の方々に信頼される病院であり続けること、また職員の皆様が生き生きと働ける環境づくりに全力で取り組んでいくことを願っています。私自身も気持ちを新たに、大牟田病院の一員として精一杯努力してまいります。

感染防止対策室からのお知らせ

はしか 麻疹 ご注意！

日本の麻疹は撲滅されましたが、
海外（特に東南アジア）ではまだまだ流行しています。
海外旅行中に感染した人から、
日本国内で他の人に感染したケースも報告されています。

麻疹は**感染力が強い**病気です。

麻疹は外国産

発熱　ブツブツ　風邪の症状

が出たら、まず**病院に電話**をしてから受診しましょう！

麻疹ってどんな症状？

済生会大牟田病院のお医者さん
教えて！Doctor

地域へ届ける、確かな医療と信頼

SAISEIKAI OMUTA HOSPITAL
SEASONAL REPORT
Special Issue

今年4月、済生会大牟田病院に副院長・外科部長として着任した津福達二医師。
がん治療においても豊富な実績を持つ津福医師に、
患者側として気になることをお聞きしました。

福岡県済生会大牟田病院
副院長 兼 外科部長
津福 達二 医師
Dr.Tatsuji Tsubuku

Profile ｜つぶく・たつじ｜
久留米市出身。防衛医科大学校卒業後、防衛医科大学校病院、久留米総合病院、大牟田市立病院、朝倉医師会病院などに勤務。一般外科のほか、専門は消化器外科、乳腺外科。好きな医療マンガは「スーパードクターK」。

がん治療・患者と医師の思い

前の勤務先では年間300例以上の手術を担当しながら、並行して多岐にわたる業務をこなす、多忙を極める毎日を送っていたという津福医師。現在は赴任したばかりということもあって、以前に比べて少し余裕を持てているとのこと。患者一人一人と、より丁寧に向き合えているそうです。

一般外科のほか、消化器外科、乳腺外科が専門の津福医師は、これまで多くのがんの手術や診療にあたられています。がん治療の技術は日進月歩で進み、ネットや巷には多くの情報が流れる昨今。患者側からすると、さまざまな治療法があるように思えて戸惑うこともあります。実際はどうなのでしょうか。

「そう思われる方は多いようですね。確かに一見、選択肢はたくさんあるように思うかもしれないし、中にはネットなどで情報収集して、この治療法をやりたいと申し出られる方もいらっしゃいます。しかし、がんにおいては、当人の病状に適合する治療法は、実は限定的であることがほとんどです」と津福医師。

「そして、どれかひとつの方法で治るというものでもありません。通常は複数の治療法を組み合わせる必要があり、患者さんに説明するときは、あまり混乱させないよう、最初に治療開始から終了までの全体像を示し、その方に適合する治療法をできるだけ集約して話すようにしています。もちろん、先進医療や大学病院の治験などを希望する方は、相談に応じていますよ」。

患者が揺れ迷うときこそ大切な〝信頼〟

がん患者やその家族が気になるもののひとつ、「セカンドオピニオン」についてもお聞きしてみました。

「セカンドオピニオンを受ける場合は、より症例数の多い専門施設や大学病院などのハイボリュームセンターを選択することを推奨しています。ただ、そのために治療開始が遅れる可能性があることや、元の医療機関での治療の順番が後回しになる可能性があることも考慮しておいた方がいいでしょう」。がんにおいてのセカンドオピニオンは、主治医の治療方針について理解を深め、納得して治療を進めることが主な目的であることを、私たちも念頭に置く必要があります。

自分や家族ががんと診断されたとき、心の整理がつかないままに難しい判断を迫られる局面も多くあります。しかし適切な判断を下すためにも、ネットなどの情報に頼り過ぎず、まずは主治医とよく話すことが、やはり一番大事なことのようです。「私たちも患者さんと話すときは、まず信頼してもらうことが大事」と津福医師。患者と向き合うときに、大切にしていることはありますか、との問いに「数ある医療機関の中からここを選んで来ていただいているのだから、しっかりとした質の高い医療を提供しなければという気持ちはあります。そういう保つべき、譲れないラインのようなものはありますね」。

経験と実績を地域の未来に活かす

実家は医療とは関係のない自営業だという津福医師。医師を志したのは高校2年生、祖母の死がきっかけだったといいます。「危篤の知らせを聞いて病室へ行くと、心臓マッサージを受ける祖母の姿が目に入って。その光景の衝撃と、あまり見舞いにも行かなかった後悔や、自責の念がずっと胸に残っていました。そんなときに学校の進路調査があって、よし、医師になろうと」。外科を選択したのは、より幅広い医療技術を身に付けたいとの思いから。関東の大学病院で心臓、呼吸器、食道などの手術・治療にあたる胸部外科でキャリアをスタート。故郷の久留米に戻るタイミングで消化器外科に転向。その後、当時年間400例に上る乳がん手術を行っていた久留米総合病院に赴任し、乳腺外科の経験を積みました。「これから済生会大牟田病院でも症例数を増やし、より多くの患者さんを受け入れられる体制をつくっていきたいと思います」。

当病院では、各科の垣根のない風通しの良さも感じるとのこと。「情報共有を密にできるのはこの病院のいいところです。医局や休憩スペースで他の科の先生と顔を合わせる機会も多く、自然と患者さんのことで相談に乗ったりできる環境は、診療や運営においてプラスに働きます」。

副院長でもある津福医師。最後に、今後の展望をお聞きしました。「医療で地域に貢献することです。地域の方々が、地域で診療を完結できる環境づくりに力を注ぎたいと思っています。遠方へ診察に出掛けることや、地元を離れて入院生活を送ることは、若いうちは許容できても高齢者にとっては大変なことです。高齢者の方々の最期まで地元にいたいという思いも良く分かります。幸い、済生会大牟田病院には医療からライフケアまで支援できる設備や施設が整っています。これらを活用し、また各機関と連携を深めながら、地域の方々が安心して暮らせるために、私たちができることを追求していきたいですね」。

患者様とそのご家族のためにできることをしっかりと

乳腺外科は、専門性の高い設備と技術が必要とされます。当院ではマンモグラフィー、エコー、MRI、CTのほか、必要に応じてRI（ラジオアイソトープ）法によるセンチネルリンパ節生検（リンパ節への転移の有無を調べる）などで検査を実施し、患者様の身体的負担の軽減に努めています。

新入職員のご紹介！ Newcomer

リハビリテーション部
理学療法士
小林 遥稀
Haruki Kobayashi

本年度より当院に入職し、理学療法士として主に一般病棟を担当させています。日々、先輩方や患者様と関わらせていただく中で、自身の視野の狭さや対応力の不足など、理学療法士としての未熟さを痛感してます。臨床の現場では、一つひとつの経験を学びと捉え、患者様により良いリハビリを提供できるよう、日々努力を重ねているところです。今後も、先輩方のご指導を仰ぎつつ、自主的な学びも大切にしながら、知識と技術の向上に努めていきます。

検査部
生理検査
大園 日和里
Hiyori Osuno

このたび済生会大牟田病院に入職いたしました、臨床検査技師の大園日和里です。日々、技術の研鑽に励むとともに、患者様が安心して検査を受けられるよう、常に思いやりのある対応を心がけています。チーム医療の一員として、他職種の方々と連携しながら、迅速かつ正確な検査の提供に努めていきます。一日でも早く皆様のお力になれるよう精一杯努力いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

地域連携室
岡村 若菜
Wakana Okamura

私は高校を卒業してすぐ入職しました。職員としても社会人としても未熟な私に先輩方はとても優しく接してくださり、日々多くのことを学ばせていただいています。今はまだ、目の前の業務を正確に行うだけで精一杯ですが、どんなことにも柔軟に対応できるようにさまざまな知識や経験を積み重ね、成長していきたいです。そして、常に自分にできることを考えながら済生会大牟田病院や地域住民の皆様に貢献できるよう、一生懸命頑張ります。

外来診療担当医師一覧表 （2025年5月現在）

【外来受付時間】午前 8:00～11:30 午後 13:00～16:30

【予約受付対応時間】平日13:00～17:00（各科外来にて承ります）※急患、当日予約、キャンセルはこの限りではありません。

診療科		月	火	水	木	金
胃腸内科 放射線科	午前	松岡 賢／松岡 大介	稲吉 康治／田渕 史典	稲吉 康治／船越 禎広	松岡 賢／田渕 史典	稲吉 康治／松岡 賢
	午後	松岡 賢／田渕 史典	松岡 賢／田渕 史典	松岡 賢／田渕 史典	松岡 賢／田渕 史典	松岡 賢／田渕 史典
	内視鏡	廣瀬 靖光	廣瀬 靖光	久能 由記子	廣瀬 靖光	高田 珠里
内科	午前	永迫 久裕	古賀 翠	蓮尾 友里	岩屋 智加予	児嶋 隆
	午後	菊池 真介	菊池 真介	蓮尾 友里／永迫 久裕	津村 健二	古賀 翠（～16:00） 岩屋 智加予（16:00～）
呼吸器内科（禁煙外来）	午前			田尻 守拡	津村 健二	児嶋 隆
	午後			田尻 守拡	津村 健二	
循環器内科	午前	松下 哲也	松下 哲也	松下 哲也	松下 哲也	松下 哲也
	午後	松下 哲也／上拾石 秀一		松下 哲也	上拾石 秀一	松下 哲也／上拾石 秀一
内分泌・糖尿病内科	午前	岩屋 智加予	古賀 翠（～12:30） 永迫 久裕	岩屋 智加予	岩屋 智加予／永迫 久裕	古賀 翠／山下 陽
	午後	岩屋 智加予		岩屋 智加予／永迫 久裕	甲状腺細胞診	古賀 翠（～16:00） フットケア診療
膠原病内科	午前					古賀 琢眞
	午後					川本 優美
脳神経内科	午前	菊池 真介	藤本 浩		菊池 真介	
	午後	菊池 真介	菊池 真介			
外科	午前	福田 純也	津福 達二	内田 信治／末吉 晋	福田 純也 唐 宇飛（第1,3,5）	津福 達二／末吉 晋
	午後	定例手術（急患の場合はご相談ください）				
ペインクリニック	午前		古野　晋堂			
泌尿器科	午前	豊澤 徳行	手術	豊澤 徳行	豊澤 徳行	豊澤 徳行（予約・再来のみ）
	午後	結石破砕術	手術	結石破砕術・検査	手術	
整形外科 リウマチ科 リハビリテーション科	午前	古畑 友基 上田 淳 竹下 修平	竹下 修平／上田 淳	古畑 友基 野崎 修（9:00～12:00）	古畑 友基／竹下 修平	上田 淳 石井 英樹（第1,3,5） 野崎 修（第2,4）
	午後				【脊椎外来】 前田 和政（第1,3)(14:30～）	
		定例手術（急患の場合はご相談ください）				
脳神経外科	午前					江藤 輔聖
婦人科	午前	上杉 佳子	上杉 佳子	上杉 佳子	上杉 佳子	鋤本 祥子（9:00～12:00）
	午後	上杉 佳子	上杉 佳子	上杉 佳子	上杉 佳子	鋤本 祥子（13:00～14:00）
	オンライン（15:00～）					上杉 佳子
健診センター	午前	魚住 淳	本廣 賢子	魚住 淳	魚住 淳／本廣 賢子	魚住 淳

「無料低額診療制度」のご案内

医療費でお困りの方はご相談ください。

お問い合わせ先 | 地域医療連携室

【発行】2025.6.1
社会福祉法人 恩賜財団済生会支部 福岡県済生会大牟田病院
大牟田市田隈 810 TEL.0944-53-2488（代表）
https://omuta-saiseikai.jp
OMUTA_SAISEIKAI　OMUTA_SAISEIKAI

連携病院の紹介

Hospital-Clinic Collaboration

無駄なことにも意味がある。地域医療の本質はたわいない会話の中に。

トヨマス内科医院
大牟田市宮部

どうしても聞かずにはいられない、建物の話から始まった「トヨマス内科医院」のインタビュー。豊増照生院長にお話を伺っていくと、建物に込められた思いは日々の患者との向き合い方にも通じているようでした。

院長
豊増 照生 医師

Profile ｜とよます・てるお｜
1951年生まれ。小学校から大牟田市に住む。大学卒業後、大学病院ほか医療機関を経た後1989年「トヨマス内科医院」を開業。済生会大牟田病院の稲吉院長とは40年以上の交流がある。

〝遊び心のある建物に〟院長自ら考案・設計

のどかな風景の中にたたずむピラミッド型の建物。誰もが目を留める外観は、豊増院長自ら設計したとのこと。「風雨に対し耐久性の高い建物を、と考えました。ただ、せっかくなら遊び心があるデザインにしたいと。こういう形は四角い建物に比べると機能的・効率的ではないですが、そうした〝無駄〟には何か意味があるように思えたのです」。

経験に基づく広い視野 築いてきた強いつながり

同院の診療科目は内科、小児科、リハビリテーション科、脳神経内科。来院する人の疾患はさまざまです。「専門医と違っていろいろな疾患を診ることになりますが、総体的にその人を診るからこそ分かることもあるのです」。かつて勤務した大学病院の内科で、呼吸器、消化器、糖尿病内分泌、神経内科など、専門分野をまたいで幅広い診療にあたった経験も生きているといいます。

開業して約35年、今では地域の人々にかかりつけ医として頼られる存在。他医療機関とのつながりも密に築いてきました。「済生会大牟田病院には、手術が必要な際や緊急時にも迅速丁寧に対応していただいている。当院にとって必要不可欠な存在です」。

〝薬だけでなく言葉も大事〟不安を除き、安心を与えたい

普段の診察では、患者とのたわいもないおしゃべりや世間話も多いとか。「患者さんの情報をとれだけ得られるかがカギ。心配事も笑い話のついでなら、打ち明けられたりするものです。患者さんにとって不安を残すことが一番いけない。気になることは話してもらうこと、そして納得してもらうことが大事」。

笑顔の絶えない院長ですが、時には患者に厳しく相対することも。その裏には、勤務医時代に診た、数人の依存症患者への思いがあるそう。入退院を繰り返し、苦しみながら亡くなっていった方たち。「最初に私がもっと強く言っていたら、この方は生活を改めて治ったかもしれない。家族も悲しまずに済んだかもしれない」と悔やんだことも。「生活習慣病のリスクが高い危機的状況を、なかなか自覚できない方も中にはいらっしゃいます。取り返しがつかなくなる前に、たとえ相手を怒らせても、嫌われても、必要ならば言葉をつくすのが私の努めだと思っています」。

若い頃は話があまり得意ではなかったという豊増院長。「今では診療に際し、薬だけでなく、患者さんとの会話も大事だと思うようになりました（笑）」と優しい笑顔。その歩みは地域の人々と共に続いていきます。

広々とした待合室も院長のこだわり。患者間の感染防止対策として十分な間を空けて座れる広さと風通しを重視。

【トヨマス内科医院】
大牟田市宮部 181-2
TEL.0944-54-4747
内科・脳神経内科・小児科・リハビリテーション科